

第8回噴火湾ホタテガイ情報(2011年)

発行日：平成23年11月2日

この情報は函館水試のホームページからも、ご覧いただけます。

<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/hakodate/scallop/scallop.html>

函館水産試験場・栽培水産試験場・釧路水産試験場
胆振・渡島北部・渡島中部地区水産技術普及指導所

底層の低酸素状態は既に解消。対流混合層も厚く、稚貝垂下水深の環境は安定。

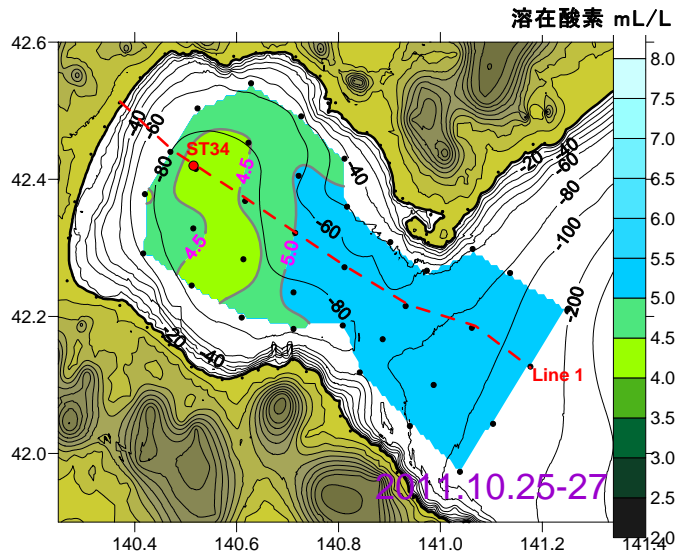


図1. 噴火湾海底上5mの溶在酸素分布(10/25-27)

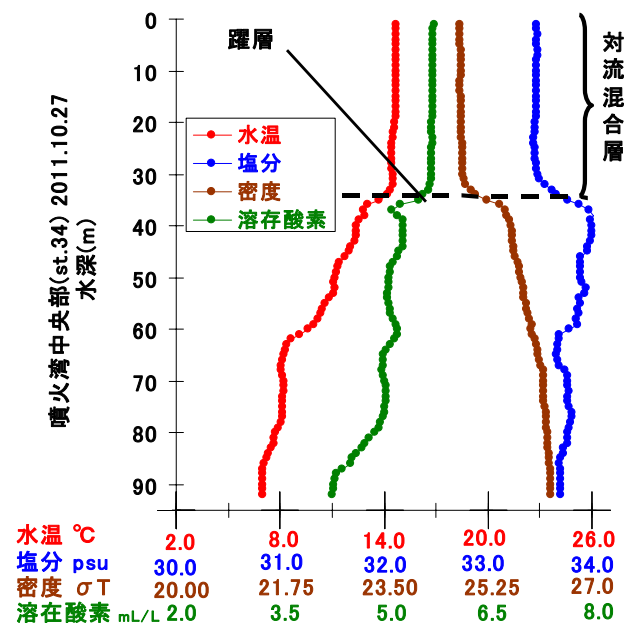


図2. 湾央(St. 34)における環境変量の鉛直分布(10/25-27)

【概要】

10月25-27日に金星丸(函館水試調査船)により、噴火湾の海洋環境調査を行いました。海底上5mの溶在酸素濃度は前回調査(9/13-14)よりも明らかに改善しています(図1)。今年は既に噴火湾底層の低酸素状態は完全に解消されたと考えられます。対流混合層の厚さも約35mと深くなっており(図2)、ホタテガイ垂下水深の環境は安定していると言えます。湾内中層以深は湾外から流入した塩分33.6以上の津軽暖流水で満たされています。底層の低酸素状態が解消し、対流混合層が厚くなったことから、今年は、稚貝の大量へい死リスクはなくなったと考えられます。

(連絡先：函館水試 調査研究部 管理増殖グループ 馬場・渡野邊・金森)

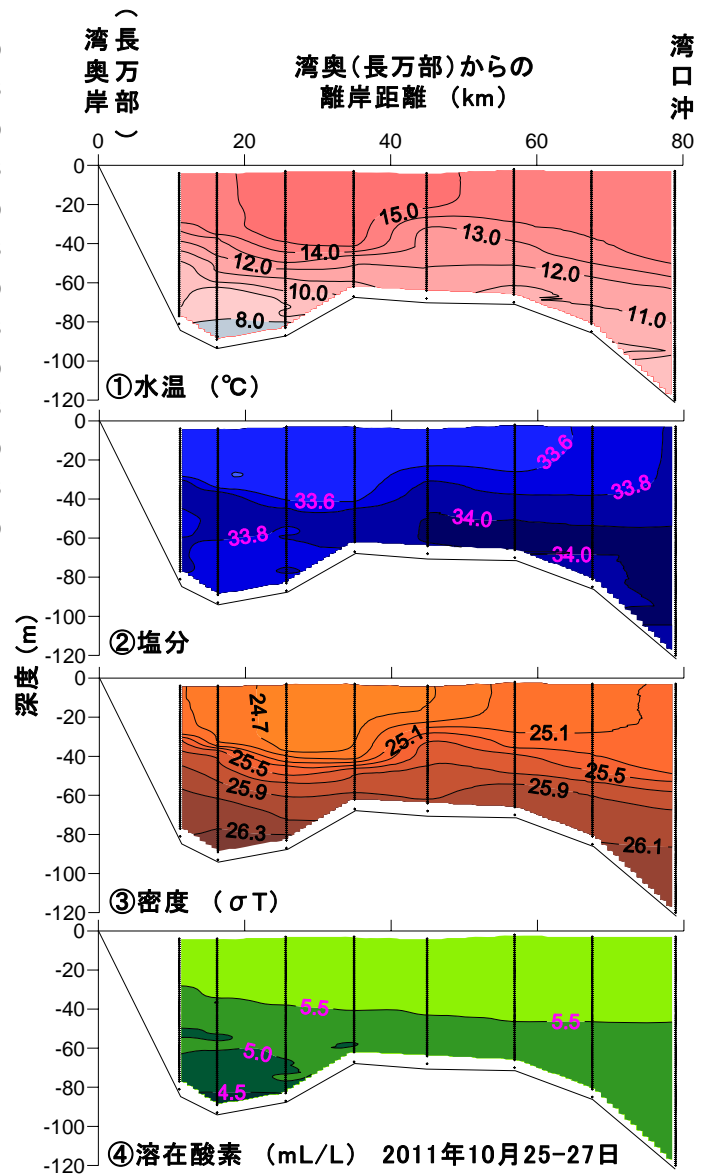


図3. 噴火湾縦断面の環境変量分布(10/25-27, 図1 Line1の断面図)